

令和5年度 D X戦略室 経営計画書

職・氏名	経 営 方 針	経 営 資 源				
副市長 難波 利光 	●使命 D X戦略室は、インターネットや携帯電話の普及に伴い、情報の受発信が身近なものとなった現代社会の中で、市民はもとより、学校や会社など市内で生活する人にとって、便利な情報ネットワークがあるまちづくりに加え、よりデジタルが市民や職員にとって身近となる環境づくりを目指します。 R3年度から進めてきた行政内部のデジタル環境整備や職員の活用促進による事務効率化、情報セキュリティ対策を今後も継続して進めるとともに、R4年度から進めてきた行政手続等のオンライン化を拡大することにより「電子自治体」の実現を目指します。 ●基本方針 - 行政手続き等のオンライン化を拡大します。 - 市民への情報発信の充実を図ります。 - 市民の情報格差を是正するための支援を行います。 - 行政内部の業務効率化を図るため、デジタル環境の整備を継続して行い、業務改革（BPR）に着手します。 - 情報セキュリティ対策やデジタル活用教育を行い、情報漏洩の防止や非常時の業務継続性向上に努めます。	所 管 課	D X戦略室			
		人 員	正職員	会計年度 任用職員	特別職	合計
			4 人	2 人	1 人	7 人
		一般会計	2 9 9 , 0 7 2 千円			
		特別会計	0 千円			
		計	2 9 9 , 0 7 2 千円			
		(うち人件費)	(3 5 , 2 3 1 千円)			

重点項目	内容	成果目標	実績（3月末）
1 行政手続き等のオンライン化	新たにスマート窓口システム「書かない窓口」を導入し、市民サービスの向上を図ります。	各種証明書発行手続き等をオンラインで事前予約するシステムを稼働させます。	スマート窓口システム「書かない窓口」は完成し、令和6年3月1日から運用開始しました。

重点項目		内容	成果目標	実績（3月末）
2	市民への情報発信の充実	基盤地図を含めたデータ整備およびGISを用いたデータ活用事業を実施します。	市民が地図データを含めた生活情報を活用できるようにGISを公開します。	航空写真データや基盤地図データが完成し、「せとうちデジマップ」としてインターネットで公開を開始しました。
3	市民の情報格差是正の支援	高齢者等インターネットを利用した情報が取得できるように教育等の支援を行います。	スマートフォン教室等の計画・実施します。	10月から2月まで市役所や公民館など市内9箇所でスマホ体験教室を計25日開催し、延べ156人が参加しました。
4	デジタル環境の整備および業務改革（BPR）による業務効率化	行政内部の業務効率化を図るため、支払証憑・契約の電子化を検証・実装します。	支払証憑・契約手続きの電子化に向けた検証・実装を行います。	契約手続きの電子化については3月までに完成し、4月公告分の入札案件契約から運用開始します。支払証憑の電子化については引き続き実装に向けて構築を進めます。
5	情報セキュリティ対策やデジタル教育による情報漏洩の防止と業務継続	テレワーク推進のほか、デジタル活用・定着化に向けた職員研修の実施およびセキュリティ遵守に向けた職員研修や定期的なセキュリティチェックを実施します。	・テレワークの実施日数を200（人日／年）以上を目指します。（参考：令和4年度191.5人日／年） ・全職員を対象としたデジタル活用教育を実施します。 ・全職員を対象としたセキュリティ教育の実施および情報漏洩事故0、ウイルス感染事故0を目指します。	・令和5年度のテレワーク実施日数は延べ213人でした。 ・職員のデジタル教育やセキュリティ教育については業務効率化のためのアプリの作成勉強会や情報セキュリティに関するオンライン研修を実施しました。 ・令和5年度は情報漏洩事故、ウイルス感染事故はありませんでした。